

令和6年度 温室効果ガスの排出削減の実績について

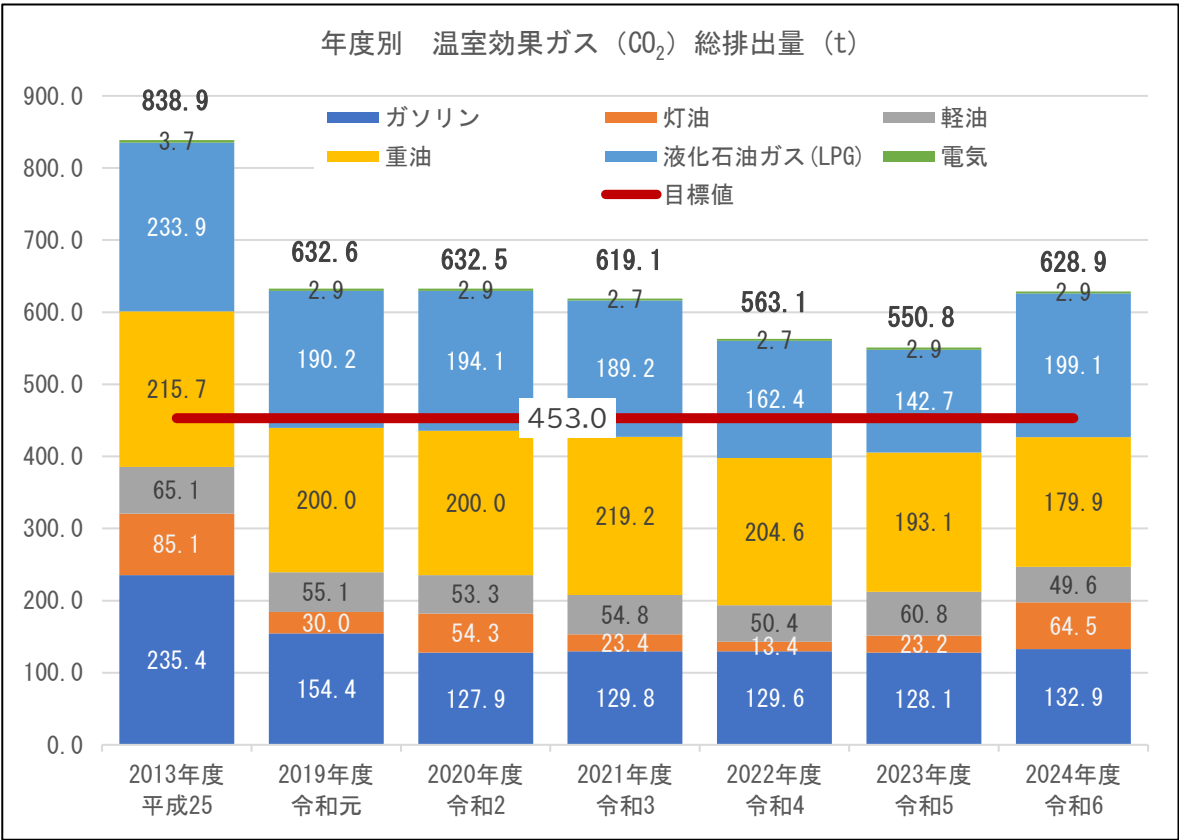
本市の温室効果ガスの排出削減目標

我が国では、温室効果ガス削減目標を「2030(令和12)年度に2013(平成25)年度比で46%削減」(地球温暖化対策計画 2021(令和3)年10月)としており、本市においても第2次地球温暖化対策実行計画(事務事業編)において、**目標年度2030(令和12)年度に基準年度2013(平成25)年度比で46%削減**を目指すこととしています。

令和6年度 温室効果ガスの排出量(実績値)

■温室効果ガスの排出量と削減率 () 内の数値は、目標値との差

年度 項目	基準年度 2013(平成25)	2023(令和5)	2024(令和6)	目標年度 2030(令和12)
温室効果ガス 排出量 t-CO ₂	838.9	550.8 (97.8)	628.9 (175.9)	453.0
削減率	—	▲ 34.3%	▲ 25.0%	▲ 46%



燃料種別 使用量

■年度別

燃料種	年度	2013 年度 平成 25		2023 年度 令和 5	2024 年度 令和 6	前年度比	
ガソリン (kl)		101.4		54.0	56.0	増	
灯油 (kl)		34.2		9.2	25.6	増	
軽油 (kl)		25.2		23.4	19.1		
重油 (kl)		79.6		69.8	65.0		
液化石油ガス (LPG) (t)		78.0		47.0	65.6	増	
電気 (kwh)		6,077.0		6,547.0	6,946.7	増	

燃料種別 温室効果ガス-CO₂ 排出量 (t)

■年度別

燃料種	年度	2013 年度 平成 25		2023 年度 令和 5	2024 年度 令和 6	前年度比	2030 年度 令和 12
ガソリン		235.4		128.1	132.9	増	
灯油		85.1		23.2	64.5	増	
軽油		65.1		60.8	49.6		
重油		215.7		193.1	179.9		
液化石油ガス (LPG)		233.9		142.7	199.1	増	
電気		3.7		2.9	2.9		
計		838.9		550.8	628.9	増	453.0
削減率 (2013 年度比)				▲34.3%	▲25.0%	増	▲46.0%

※各数値は各燃料の使用量を基に CO₂ 排出量に換算したもの

まとめ

令和 6 年度の温室効果ガス (CO₂) の排出量は、5 年度と比較して軽油、重油、電気を除き増加に転じました。えびの高原足湯の駅がグランドオープンするなど、飲食の提供のためのガスや暖房用の灯油の使用が増えたことが一因と思われます。一方、電力消費量も増えてましたが、温室効果ガス排出への影響は小さく、前年度と比較して同程度となっています。これは化石燃料の消費が、温室効果ガスの排出により大きく影響することを表しています。

市民をはじめ、観光客へのサービス提供のため一定の燃料消費は避けられないものがありますが、目標達成のためには、再生可能エネルギーへの転換を進めること及び化石燃料のさらなる消費削減が必要と考えられます。